

1 事業概要

事務事業名		恒川遺跡群保存活用事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始	H13	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす				
	分野別計画			史跡恒川官衙遺跡保存活用計画				
				史跡恒川官衙遺跡整備基本計画				
	法令・例規等			文化財保護法				
				長野県文化財保護条例				
				飯田市文化財保護条例・同施行規則				
事業目的		対象	国史跡指定地を含む恒川遺跡群					
		意図	恒川遺跡群の実態解明に向け、調査・研究を進めるとともに、史跡指定地の公有地化の促進及び整備基本計画に基づく整備を実施し、適切に保存活用します。					

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)		史跡恒川官衙遺跡整備基本計画に基づき、基本設計・実施設計を行い、順次整備工事に着手します。また、史跡整備に必要な情報を得るための保存目的調査や指定地の公有地化を計画的に進める必要があります。 ★重機作業の騒音や、発掘現場からの土砂の飛散や流出防止に対する配慮が必要です。					
印はISO配慮事項							
1年度取組	取組内容			経費の内容		事業費(千円)	
	・史跡指定地の公有地化を進めます。 ・調査計画に基づく保存目的調査を実施し、整備のための必要データの集積を図ります。 ・個人住宅及び民間開発に伴う確認調査を実施します。 ・公有地化された指定地の整地及び除草管理を行います。 ・清水エリアの実施設計を行います。 ・清水エリアの整備工事に一部着手します。 ・正倉院北側エリアの基本設計・実施設計を行います。 ・設計及び現地調査に関する専門委員会を3回開催します。			基本設計・実施設計経費		8,759	
				整備工事費		1,998	
				専門委員会等経費		149	
				用地取得費		333,837	
				用地管理・整備費		2,047	
				保存目的調査経費		17,003	
				緊急発掘調査経費		3,346	
				その他の経費		0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度実績	平成30年度計画	令和元年度計画	令和2年度
	専門委員会の開催数		回	5	3	3	
	保存目的調査実施箇所		箇所	4	6	5	
	公有地化面積		m	7,099.51	7,768	3,495	
1年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項			
	事業費 計		367,139	(国) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 (1 / 2) 14,200千円			
	国庫支出金		188,420	(国) 史跡等購入費補助金 (4 / 5) 174,220千円			
	県支出金		0	(地) 一般補助施設 (充当率75%) 44,000千円			
	地方債		148,300	(地) 地域活性化 (充当率90%) 104,300千円			
	その他		0				
	一般財源		30,419				

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	14	1	246,182 0	恒川遺跡群保存活用事業費(補助)
2	1	10	5	3	14	2	120,957 0	恒川遺跡群保存活用事業費(単独)
3								
4								
5								
6								
7								